

# NEWS

## 国の財布考



国会が閉会し、他の議員はみんな、いっせいに地元へと帰っていきました。しかし、政府の一員となった我々は役所に残ります。まだまだ予算編成の真っ只中、ヒト山フタ山どころか、ミ山ぐらいありそうです。

税調は、国税、地方税、共に一つの課題を残して大臣折衝案件となりました。こうした税の話と並行して予算の話も財務省と折衝することになりますが、今回この予算編成プロセスとともに税の議論の場の持ち方に大いに疑問を感じました。かつて自民党政権下では政府税調と党税調が並立し、大物政治家たちによる「インナー」と呼ばれる密室協議で党税調が絶大なる権力をふるってきました。業界団体へのさじ加減も、政治力で決まってきたのです。この弊害を打破するために、税調の政府への一本化はあるべき姿だと思います。しかし、総理の諮問機関である税調が結局、一本化の姿として財務省に置かれた(かのごとき)姿には、大いに疑問を感じます。予算と税というど真ん中を最終権限まで財務省が握り、政策の中身まで差配することになるからです。

もちろん、政権交代の過渡期であるがゆえに試行錯誤でかまわないと思います。しかし、本来税調は国家戦略局(室)の監督下に置くべきではないか、と私は思うのです。

そして肝心の当初予算です。こちら副大臣レベルからのマニフェスト項目のヒアリングが終わり大臣レベルの交渉に入ることになりますが、いわゆる「外堀を埋める」マスコミへのリークやけん制発言が繰り返されて

います。政策について、途中段階での様々な話がマスコミで踊っています。「・・・で方針が固まった」などと報道されていますが、信憑性のないものも多いのです。一切、国交省として今の段階で外に出したものはないのであります。こうして自分たちの思惑をマスコミに流して世論を作り、誘導するのが手口なのです。予算編成過程の中で、省内でもどういう決着がつくのか見えないことへの不安と苛立ちがあるようです。政治主導の名の下に行われる予算編成が、かつてない経験であるがゆえに出口への不安があるのは理解できます。しかし私は、ことあるごと省内の職員には言っています。一喜一憂せず、泰然自若、虚心坦懐に事に当たろうと。職員の立場からすれば、予算獲得は政策の実行を担保する、すなわち自らの存在意義を示すことそのものであり、政策の企画立案は実行あってこそ意味があるのだと意気込むのもよくわかります。しかし、あまりにもそのことにこだわりすぎるのがひいては財政当局の権限を高らしめてしまっていることに気がつかなければなりません。「何があつたって、命まで取られることはない。恐れず、ひるまず、淡々とやっつけようよ！」秘書官たちも大きくうなずいて、私を励ましてくれます。半年前に、私の前に立ちほだかり、必死に何かを覆い隠そうとしていたかのごとき役所の姿は、もはやありません。信じることから始めてきて、徐々に、ジンワリと変り始めていると思っています。(了)

### まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの寄付(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所  
0742 (40) 5531

[www.mabuti.net](http://www.mabuti.net)

まぶちの「不易塾日記」好評連載中

# 「まぶち会」 についてのご案内

会の名称：「まぶち会」  
（政治資金管理団体に同じ）  
会費：年間寄付金（一口）10,000円  
会期：一年間（政治献金）



## ◆後援会「まぶち会」とは

「まぶち会」には、二つの目的があります。一つは、私を応援して下さる皆様の一つになれる場所を提供すること。もう一つは、「一円たりとも企業献金を受けない」という信念の私の政治活動を「まぶち会」に入会していただき年間寄付金（政治献金）で支えていただくことです。

私は「同じ目線」ということにこだわってきました。「まぶち会」は、後援会長を頂点とした従来の政治家のピラミッド型の後援会組織とは異なる、フラットなネットワーク型の新しい組織形態と活動を目指しています。ぜひ、皆様の入会をお待ちしております。

## 入会のお申込、詳しいお問い合わせは

まぶちすみお後援会事務所

TEL 0742 (40) 5531 までお願いいたします。

## スタッフ日記

### 新習慣、「朝活」

みなさんは自分の「時間活用術」をお持ちでしょうか？来年就職活動を控えた私は現在猛勉強中です（自分で言うのも何ですが…）。とにかく、時間が無い！でもやることはいっぱいある！と嘆く毎日。

そんな折、書店で私の目に留まったのは、「成果を出す人の実践時間活用術」の文字。これは読むしかない！と早速手に取ると、その内容は「活動を朝型に変える“朝活”をすることで大変なメリットが生まれる」というものでした。

「朝活」のメリットには、太陽光を浴びる時間が長くなることで、脳の活性化を促したり、感情を穏やかにしたりするセロトニンの分泌が盛んになること、朝食をとる時間を確保することができて頭の回転がよくなること、人が少ない静かな

場所で他の人よりも早くに活動に取り掛かることができるため、仕事の効率が上がることなどが挙げられていました。

大学生の私にとって、朝はとても苦手な時間帯です。いつまでも毛布にくるまって時間を費やしたり、何かと理由をつけては朝食をとらない、ということとはしょっちゅうです。しかし、この有意義な時間を知ってしまった以上、みすみす見逃す訳にはいきません。「来年から…」ではなく、「明日から！」この「朝活」始めていきたいと思います。三日坊主では終わらぬように、是非とも今年中に早起きをする習慣を身につけたいものです。みなさんも新習慣、「朝活」始めてみませんか？

（ウッキー）

## 週間活動報告

5 土 高邑勉代議士結婚式、予算案作成作業

6 日 帰奈、第112回シビックミーティング、大阪ガス、共同通信、第57回天下国家を語る会大忘年会、上京

7 月 月刊東京グラフィティ、定期航空協会、JR東日本、第4回国土交通省成長戦略会議、定例記者会見、第20回税制調査会、TBS

8 火 決裁（道路局、都市局、官房会計課）、第21回税制調査会、官房技術調査課・総合政策局レク

9 水 建設業団体意見交換会、レク（住宅局、都市局2件）、全建総連、島の振興議連役員要望、第4回経済対策検討チーム、【講演】日本不動産ジャーナリスト会議

10 木 副大臣会議、水資源部レク、中小企業等の金融円滑化意見交換会、大澤群馬県知事大臣面談立会

11 金 官房人事課決裁、住宅局レク、政務三役会議、大臣打ち合わせ、選都1300年記念祝典交流レセプション

衆議院  
議員

馬 淵 澄 夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：  
office@mabuti.net

国会  
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1  
衆議院 第1 議員会館 437号室  
TEL 03 (3508) 7137 FAX 03(3506) 3572

奈良  
事務所

まぶちすみお後援会（まぶち会）  
〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F  
TEL 0742 (40) 5531 FAX 0742 (40) 5532